

ドイツのジュウリー作家：エリッヒ・チママン氏の最新作は、やっぱり着け心地の良いものでした。

無駄のないドイツ的デザインに、機能性とエレガンスが見える。

WORKS OF ERICH ZIMMERMANN HAVE "FUNCTION" AND "ELEGANCE".



上は代表作でもあるコクーン・シリーズのネックレス：K18

右ページは最新作のネックレスで、高度な技術が首へのフィット感に表われます：K18・クォーツ

Erich Zimmermann

●エリッヒ・チママン

1958年、独・アウグスブルクに生まれる。1979年、ギムナジウム試験合格。1983年から、金細工師として修業。1988年に、ドイツの芸術家団体に所属。1990年から、フランクフルト、ミュンヘンなどの国内をはじめ、ニューヨーク、シカゴ、パリ、ウォーン等、海外展に出展。1994年には、金属工業大学などで技術指導を手掛ける。数多くの賞歴もあり、最近では、97年に独・フリードリッヒ・ツェルヘルム・ミュラー国際賞の優秀賞に（本誌95年1月号参照）。



ドイツのデザインは、極めてシンプルで飾り気が無く、人間味が感じられない、と敬遠する人もいます。特にジュウリーでは、大ぶりのゴールドが輝くイタリヤの、贅沢に宝石をちりばめたフランスのそれとは違い、日本人が持つ、ヨーロッパ・ジュウリーのイメージと、掛け離れているかも知れま

せん。でも最近では、ドイツのジュウリーが現代の生活空間にはマッチしていて、いわゆる、ジュウリーを装うという堅苦しさも無く、かえって日常的、と好んで着ける人もいます。

E. チママン氏の作品は、ドイツ的なデザインで機能美のある、そして体温を感じさせる現代ジュウリーです。

